

～子どもたちに輝く明日を!～



未来を守る 新生児スクリーニング

新生児スクリーニングは、病気を早期に診断して治療につなげるための検査です。子どもたちの未来のために、ぜひ受けていただきたい大切な検査です。栃木県で新たに対象となった病気の概要や治療法を専門家が解説します。



日時 2025年 **2月15日** (土)

時間 **15:00-17:15**

会場 **ライトキューブ宇都宮 105・106会議室**
JR宇都宮駅東口直結

対象 **関心のあるすべての方にご参加いただけます**

- ・ 一般市民や妊娠中のご夫婦
- ・ 産科医、助産師、小児科医など、新生児スクリーニングに関与する医療従事者の方々

**参加費
無料**



後日、とちぎ子ども医療支援プロジェクト公式YouTubeチャンネルで、講演会の様子を配信いたします。お楽しみに!

動画はこちらから



開会の挨拶

山形 崇倫

(栃木リハビリテーションセンター、とちぎ子ども医療支援プロジェクト)

第一部

これまでの新生児スクリーニングと 新たな展開

1. 新生児スクリーニングとは?

村松 一洋 (自治医科大学 小児科学)

2. 国の実証事業として開始された 拡大新生児スクリーニング

① 未来の可能性が広がる
脊髄性筋萎縮症の新生児スクリーニング
木水 友一 (大阪母子医療センター 脳神経内科)

② 拡大新生児スクリーニングを受けた
経緯と感想
瓦井さんご家族

3. 新生児スクリーニング実施にあたって

① 保健衛生事業団の取り組み
高瀬 訓子 (栃木県保健衛生事業団)

② 産科の立場から
成瀬 勝彦 (獨協医科大学 産婦人科学)

③ “知る”きっかけをつくる情報発信
安藤 奈々 (読売新聞東京本社 医療部)

第二部

新たに開始された 拡大新生児スクリーニング

1. ライソゾーム病

① ポンペ病の診断・治療
白石 秀明 (獨協医科大学 小児科学)

② ムコ多糖症 I, II 型
奥山 虎之 (埼玉医科大学 ゲノム医療科)

③ ファブリー病
村山 圭
(順天堂大学 難治性疾患診断・治療学講座 / 小児科学講座)

2. 副腎白質ジストロフィー

新生児スクリーニングの現状と課題
下澤 伸行 (岐阜大学高等研究院)

閉会の挨拶

浅井 秀実

(栃木県医師会、とちぎ子ども医療支援プロジェクト)

〈司会〉鹿島田 千帆 (コムデザイン合同会社)

一般社団法人 とちぎ子ども医療支援プロジェクト 私たちの活動について

栃木の子どもたちの医療や福祉を支援し、子どもたちの命と成長を支えていきたい

我々は、拡大新生児スクリーニング事業や神経発達症の子どもと家族に対する診療支援などに取り組んでいます。



皆さまのあたたかいご支援を
ぜひよろしくお願いいたします。

ご寄付について、
詳しくはこちらから

